

## 第1回

# 意外と知られていない 博物館の役割

## Topix ①

### 博物館とはー

休日になると町外からたくさんの人が訪れる恐竜博物館。新館がオープンした平成24年度の来館者数は約17万人。熊本地震の影響で一時的に落ち込みましたが、最近では年間14～15万人にまで回復してきました。これは、県内の博物館ではトップクラス、他県の県立博物館にもひけをとらない数字です。このように博物館には町外からたくさんの人が訪れるため、結果として地域の観光振興にも寄与します。観光施設やテーマパークと勘違いされることもありますが、実際は、社会教育法と博物館法に定められた「教育・研究機関」なのです。

## Topix ②

### 博物館の 役割とはー

昔から、ヨーロッパなどでは王侯貴族や富裕な人々によって、めずらしいものや貴重な絵画などが収集されていました。それが、市民の財産として公的に保管・管理され、展示公開されるようになっていったのが博物館のはじまりだと言われています。博物館は「資料の収集・保管」、「調査研究」、「展示」、「教育普及活動」を一体的に行う施設と定義されていて、恐竜博物館も博物館法に基づく登録博物館として、これらの活動を行っています。新しい恐竜博物館は、博物館の活動に町民の参加を得て「共に成長する」ことを理念としているのです。

#### ■博物館を育てる5+1の活動



# 池上直樹の 恐竜 そうだったのか!!

- ➡最近、何かと話題となっている恐竜や博物館。
- ➡恐竜博物館の池上博士が最近の恐竜事情についてわかりやすく解説します。
- ➡「そうだったのか!」と新しい何かを発見していただける新連載です。
- ➡今月号から全10回を予定しています。



profile  
1968年(昭和43年)熊本県生まれ。博士〔(理学)九州大学〕。中学校教諭、上益城教育事務所指導主事(御船町派遣)を経て、1998年から御船町恐竜博物館に学芸員として勤務。調査研究から教育普及活動まで何でもこなし、熊本大学非常勤講師やモンタナ州立大学付属ロッキー博物館の協力研究員も務めている。

## Topix ③

### 御船町に 恐竜博物館ができた理由



#### ▲天君ダム恐竜化石発掘調査

▶天君ダムで最初に発見された恐竜化石(恐竜博物館にて展示中)

では、御船町にはなぜ恐竜博物館が必要なのでしょう。1979年に「ミフネリユウ」が見つかっていましたが、その化石は熊本を離れ横浜国立大学で保管されていました。御船層群から恐竜の化石が数多く見つかり始めたのは、1990年。天君ダム付近で恐竜化石を含む地層が発見されたことがきっかけです。以降、熊本大学と御船町が連携して調査を進め、化石の収集に努力してきました。ここから発見された化石は国内では産出例がなく、世界的に見ても大変めずらしい貴重なもののばかり。化石を適切に保管し、研究し、公開する必要に迫られました。さらに町内には恐竜化石が見つかる場所が、他にもたくさんあることがわかり、放置すればその貴重な化石は正体を解明されぬまま風化して壊れていくか、盗掘され散逸してしまう…というような状況でした。「貴重な化石を守り地域に残したい」という多くの人の思いから、1998年に誕生したのです。

# 寿



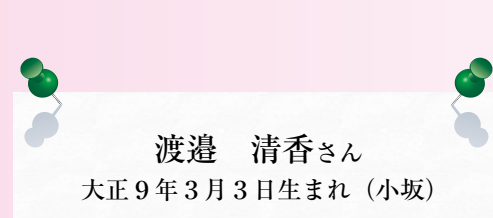
藤本 敦子さん  
大正8年9月1日生まれ(滝川)



藤田 マサエさん  
大正8年7月6日生まれ(木倉)



松原 タツコさん  
大正8年12月26日生まれ(田代)



渡邊 清香さん  
大正9年3月3日生まれ(小坂)



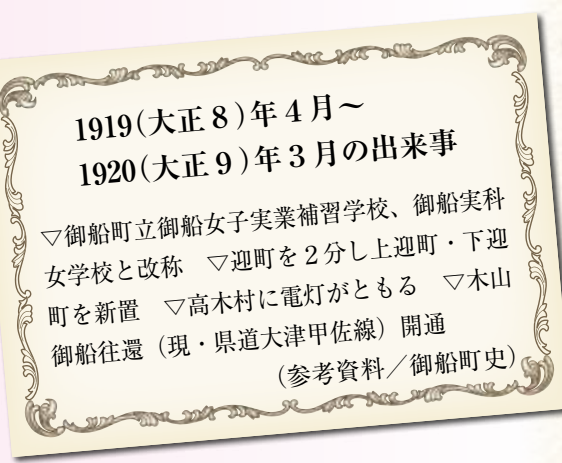
河部 ウメエさん  
大正8年11月5日生まれ(木倉)



本田 ミユキさん  
大正8年9月16日生まれ(御船)



下山 ミヤさん  
大正8年11月28日生まれ(滝川)



## 祝 百歳内閣総理大臣表彰

10月4日、今年度中に100歳を迎えられる方に、国からの内閣総理大臣祝状と記念品、町からの記念品を藤本正幸町長が施設や自宅に訪問し、贈呈しました。

令和元年9月15日現在、熊本県内の100歳以上は、1,529人(男性178人、女性1,351人)と過去最高です。御船町内では、14人(男性1人、女性13人)になります。

11月1日現在で町内最高齢は107歳。明治44年11月15日生まれの藤岡マサエさん(滝尾)です。

# みふねで 百歳